

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	子育てアドバイザー・育児支援ヘルパー派遣事業				事業番号	014-020
担当部署名	こども青少年局	局	こども青少年育成部	部	こども育成課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(1)妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実
			有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
			無	現状値	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—

2	関連計画	堺市こども計画		
3	事業開始年度	平成 15 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 11 年度
4	実施根拠	児童福祉法、養育支援訪問事業実施要綱、子育て世帯訪問支援事業実施要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区		
6	事業の対象	子育てについて支援を求める家庭やサークル等	対象数	単位
			—	—
7	事業の目的	支援を求める家庭やサークルに子育てアドバイザーや育児支援ヘルパーを派遣することで、こどもの養育の安定や養育者の育児不安の軽減等、地域の子育て支援機能の充実を図り、安心して子どもを生き育てられる環境を整備する。		
8	事業内容	支援を必要としている子育て家庭やサークル等への子育てアドバイザーの派遣、概ね生後6～7か月の乳児のいる家庭へ子育てアドバイザーの訪問を実施する。 また、支援を必要としている家庭からの申請に基づき育児支援ヘルパーの派遣を決定し、市と委託契約している事業者からヘルパーを派遣する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	子育てアドバイザー(ボランティア)、市内の訪問介護事業所等		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和11年度
	子育て家庭・子育てサークル等への延べ派遣回数（さかい子育てスマイル訪問を除く）	回	目標値	4,200	4,800	7,700	7,700
			実績値	4,735	5,100		
		達成率	113%	106%			
	当該指標を選定した理由	支援を必要としている家庭やサークルの実数が分かるため（さかい子育てスマイル訪問は全数訪問事業であるため、成果指標から除外）					
	目標値の設定根拠・算出方法	過去の実績等を勘案して設定					

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	妊婦のための支援給付の8か月アンケートで子育てアドバイザー・育児支援ヘルパーを知っていると答えた方の割合	%	目標値	—	70	70	
			実績値	—	38		
達成率			—	54%			
	当該指標を選定した理由	本事業の認知度が成果指標の実績値の向上に寄与するため（令和7年度指標変更）					
	目標値の設定根拠・算出方法	子育て支援事業について知っていると答えた保護者の割合（堺市こども計画）					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	子育てアドバイザー・育児支援ヘルパー派遣事業	事業番号	014-020
-------	------------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	11,608	11,922	12,344	13,342	23,896
	財 国支出金	5,055	2,891	2,726	3,596	7,060
	源 府支出金	2,921	2,891	2,726	3,596	7,060
	内 市債	0	0	0	0	0
	記 その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	3,632	6,140	6,892	6,150	9,776
14	人件費（b）	10,765	10,610	11,430	12,000	12,660
15	年間経費（c）=(a)+(b)	22,373	22,532	23,774	25,342	36,556

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	事業費内訳	育児ヘルパー派遣委託		10,391	3,465	会場等借上料	R7	決算	0	0
		R8	予算	19,182	6,394		R8	予算	50	50
	謝礼金	R7	決算	2,033	1,767		R7	決算		
		R8	予算	3,221	1,889		R8	予算		
	消耗品、印刷製本費	R7	決算	137	137		R7	決算		
		R8	予算	378	378		R8	予算		
	通信運搬費・郵便料	R7	決算	554	554		R7	決算		
		R8	予算	815	815		R8	予算		
	その他保険料	R7	決算	227	227		R7	決算		
		R8	予算	250	250		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 延べ派遣回数（さかい子育てスマイル訪問を含む）	件	6,561	6,880
	② 上記①にかかる年間経費	千円	22,532	25,342
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	3,434	3,683
	算出についての説明等		延べ派遣回数（さかい子育てスマイル訪問を含む）	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和6年度と比べ、延べ派遣回数は増加しており、支援ニーズの高まりに対応している。一方で、年間経費及び単位当たり経費はいずれも増加しており、効率性はやや低下している。成果面では、延べ派遣回数の増加に伴い、家事・育児負担の軽減や養育環境の安定に一定の効果が認められており、成果は概ね確保されていると評価できる。一方で、認知度が目標値を下回っていることから、今後は事業周知の強化や事業内容の見直し等を図る必要がある。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	延べ派遣回数の増加により、子育てに不安や負担を抱える家庭への訪問支援の機会が拡大しており、家事・育児負担の軽減や養育環境の安定に寄与している。これにより、安全で安心して子育てができる環境整備が進み、妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援の推進に寄与している。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	令和3年度以降、延べ派遣回数は増加傾向にあり、子育て家庭の負担軽減に対するニーズは継続して高い状況にある。本事業は、子育てアドバイザー及び育児支援ヘルパーの派遣を通じて、家事・育児負担の軽減や養育環境の安定を図る直接的な支援であり、事業目的の達成に一定の効果を上げていることから、必要性・有効性ともに高いと評価できる。
	有効性	■ 高い □ 低い	